

令和4年度 伝統産業技術後継者育成研修「陶磁器コース」「陶磁器応用コース」

釉薬発表展

主催 地方独立行政法人京都市産業技術研究所 共催 京都陶磁器研究会

京都の誇る伝統産業の維持・発展には優れた技術を受け継ぐ「人づくり」がその基盤となります。京都市産業技術研究所では後継者の育成を図るため専門的な基礎知識と技術について教育・指導を行う伝統産業技術後継者育成研修を行っています。

「陶磁器コース」「陶磁器応用コース」における、1年間の研修成果の一端を広く関係業界に公開し、その成果に対する評価を求めるとともに、研修生の意識高揚を図ることを目的として釉薬発表展を実施いたします。是非、ご高覧ください。

記

日時 令和5年3月6日（月）午後1時から午後4時

会場 地方独立行政法人京都市産業技術研究所 2階 ホールABC

参加費 無料

内容 釉薬自主実験のテストピースの展示。（裏面をご参照ください）

申込方法 希望者は下記申込書により、2月27日（月）までに郵送、FAX、メールのいずれかによりお申し込みください。

お問合せ 産業人材育成グループ 橋田、鈴木 TEL：075-326-6100（代表）

申込先 〒600-8815 京都市下京区中堂寺粟田町91番地

地方独立行政法人京都市産業技術研究所 陶磁器担当 宛

FAX：075-326-6170

E-mail：tojiki@tc-kyoto.or.jp

キリトリ線

令和4年度 伝統産業技術後継者育成研修「陶磁器コース」「陶磁器応用コース」釉薬発表展
【3月6日（月）】申込書

会社名 _____ TEL _____

住 所 _____ FAX _____

氏 名 _____

※メールでの申込について

tojiki@tc-kyoto.or.jp 宛に「釉薬発表展参加申込」と記載いただき、申込書記載内容をお送りください。
（担当者から確認のご連絡をさせていただく場合があります。）

令和4年度
＜自主実験テーマ一覧＞

■陶磁器コース

小川 藍	銅マット釉、ぬか金ラスター、各種灰釉(桜、柿、コーヒー等)、銀化天目
HUANG YING	キラキラしたマット釉、染付釉
小山 紫	ニッケル系紫色釉、顔料による紫釉
田中 二葉	マグネシウム系結晶釉、暖色系の釉薬、染付釉
松本 直子	色材を添加した灰釉、土石釉
山崎 匠	禾目天目、金天目、青伊羅保、海鼠釉

■陶磁器応用コース

大塩 正記	チタン結晶釉、織部釉、ひび割れた化粧土、そば釉
新村 真規人	高火度三彩(フリット釉、灰釉)
山本 優也	乳濁釉、微細な結晶釉
劉 奂好	銀化天目(三角座標、ゼーゲル式)